

もり
大 森 勝 夫 の 音
おと
信たより

六月の定例議会を終えて

みなさんこんにちは 大森勝夫です

六月に定例議会が開かれました

町議になって初めての定例議会となります

六月九日に一般質問に挑戦しました

大子町が元気になっていく願いを込めて発言しました

小さな紙面では伝えきれませんが要約してみました

すこしでも私の思いが伝われば幸いです

大子を有名に(ブランド化) 町外

の方は、「奥久慈」を町だと思い込んでいたり、「袋田」が大子町内であることを知らなかったりします。大子町の特産品なのに奥久慈町で採れているなんて誤った解釈をしていることもあります。大子の魅力を分割してしまっているのが残念です。

これは町名の「大子」よりも「奥久慈」の名称がひろく使用されていたり、「袋田の滝」

の知名度の輝きに「大子」が隠れてしまっているからでしょう。

この「大子」「奥久慈」「袋田」の名称のあり方、使い方を検討すべきではないでしょうか。町名である「大子」が有名になり、大子ブランドとして信頼を得れば、農林業だけでなく、商工業も恩恵を得られるでしょう。町民の利益になると思うのです。

また、宣伝効果を考えれば「大子袋田の滝」と呼ぶようにしただけでも「大子町に袋田の滝はあるんだ」と無意識のうちに理解してもらえるようになります。日光華厳の滝を例にあげれば、その効果は理解していただけたとおもいます。

答弁

大子という名称を広める重要さは理解している。特産品などは「奥久慈ブランド」で展開している業種もあるので、慎重な対応が必要。「袋田の滝」も呼び名を急に変更することは難しい。しかし、今後「大子」の使用頻度をあげていく努力はしていく。

袋田観瀑トンネルの運営指針

今年度から、観瀑トンネルは開発公社の管理

に移されました。経費削減のための集中管理だとうかがいました。

袋田観瀑トンネルは収益を生み出せる施設です。赤字施設の多い町内では、貴重な存在といえるでしょう。

昨年度の開発公社の決算は赤字でした。いくつか赤字の施設があるためです。収益のある施設が管理下になれば、全体での赤字決算は免れるようになるかもしれません。

しかし、個々の施設の運営状況の明確化に不安が残ります。赤字だった施設の経営改善があるそかになる心配はないのでしょうか。

また、第二観瀑台オープンにともない、エレベーターの運転経費、保守点検や修繕の費用が新たに発生します。トンネル利用料金の変更はありません。仮定ですが、数年後、来場者のブームが去り、収益が減った頃に修繕が必要となり町の財政負担となるといった状況は発生しないのでしょうか。

答弁

袋田観瀑トンネルは県の施設を管理委託されている。収益は一度町に入り、かかった経費分を開発公社に支払う。赤字補填という目的では使用できない。トンネル料金については、町長の管理下のうちは値上げはせず運営していく。

J-T跡地の交流センター運営

J-T跡地に文化交流センターの建設が予定されています。町に文化施設は必要だと思いません。しかし、町民に愛され使用してもらおうべき施設なのに、概要が伝わってこないとの声も耳にします。駅に近く商店街の中といった好立地なので、慎重な計画が望まれます。

また、箱物にたいする不安もささやかれています。運営にあたり、職員数や経費などの試算はどうなっているのでしょうか。

答 弁

子育て支援としても使用するので、ボランティアをメインに募集する予定。細かな運営経費までは試算しきれない。

町営住宅の配置検討

水戸方面な

ど県央エリアへ通勤している若者は相当数になります。通勤負担から町外へ転出してしまうケースもあります。町内の通勤圏内に町営住宅を整備し、転出防止と町へ帰ってきてもらう働きかけが必要ではないでしょうか。家を建てる決心はできなくても、「賃貸だったら、ためしに戻って住んでみるか」といった若者もいるはず。町の最南地区の西金などに町

営住宅を整備することは、有効な過疎対策となるのではないのでしょうか。

答 弁

西金地区など町の南には、町有地が無い。土地取得からだともむずかしい。

光ファイバー通信

通信環境の遅れ

た地域は、住む若者にとつて、敗北感に似た感情をおぼえさせます。町が積極的に「光通信」整備に取り組まなくてはなりません。

また、企業誘致の面でも、通信環境の善し悪しは、進出を決定する判断項目として重要視されています。通信を利用した企業は交通の利便性は求めません。通信を利用した施設の例では、電話応対センターなどで、雇用人数も多く、廃校利用など、新たな建設コストもかかりません。大子の未来のために「光通信」の整備が必要なのではないでしょうか。

答 弁

大子中心地区で、五百件ほどの仮申込を得られれば、その地区だけ「光通信」の整備を進めてもらえる。これは町負担ゼロ。大子全域はコストの面でなかなか難しい。

茨城空港に備えた作戦

大子町に

は観光施設、温泉、おいしいもの、ゴルフ、アユや溪流釣り、登山やハイキングなど、たくさんのお宝があります。県外から来る方には、それらの要素を組み合わせ、プラン化して提案することで、いっそう魅力が高まると思います。交流人口の増加が、商店街や事業所に利益を生み出せるような提案ができないだろうか。

答 弁

都市交流プロジェクトなど、進行中のものを展開していくことで、実現の可能性はある。

「健康」が光るまちに

通称「メタ

ボリック検診」が始まることで、健康意識も高まるはず。保健指導対象者などに「フォレスパ」の利用をうながし、既存施設の活用促進がはかれないだろうか。

答 弁

フォレスパの屋内プールは狭いので、水泳利用者との兼ね合いを検討する必要があります。方針としてはフォレスパを健康施設として活用する考えもある。